

## 6月定例議会

令和2年第2回幸手市議会定例会

# 一般会計補正予算を含む 市長提出議案17件を可決・承認・同意

6月定例会は、6月1日から19日間の日程で開かれました。市長提出議案は、専決処分の承認5件、条例案7件、埼玉県市町村総合事務組合の規約変更1件、令和2年度一般会計・特別会計補正予算3件、人事案件2件の合計18件でした。審議の結果17件は原案通り可決・承認・同意となり、人事案件1件は不同意となりました。一般質問は、13人の議員が市政をただしました。

新型コロナウイルス  
感染症に対する  
緊急経済対策

(議案第31号)  
令和2年度幸手市一般  
会計補正予算  
(第2号)(専決第6号)

新型コロナウイルス感染症に対する国の緊急経済対策による令和2年度の補正予算が4月30日に成立しました。

国民1人当たり10万円を給付する特別定額給付金および、児童手当の受給対象児童に対し1人当たり1万円を支給する臨時特別給付金が創設されました。

これらの給付金については、市民生活に直結し迅速に対応する必要がありますから地方自治法第179条第1項の規定により専決処分とされま

(議案第40号)  
令和2年度幸手市一般会  
計補正予算(第3号)

した。歳入歳出それぞれ52億992万3千円が追加補正されました。

令和2年5月1日に国より新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の創設が示されました。

主に新型コロナウイルス感染症拡大を防止すると共に、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援する事業について、歳入歳出それぞれ2億6455万8千円が追加補正されました。

(内容)  
・市内全世帯に市指定家庭用ごみ

袋(中)2パックを配布。

・新型コロナウイルス感染症の影響で収入が減少し家賃が払えない人に対し家賃相当分を給付。  
・中学生以下の子育て世帯へ幸手産特別栽培米コシヒカリを5キロ給付。

・ひとり親家庭子育て支援臨時給付金として1人当たり3万円の支給。

・ハッピーエールプロジェクトとして、新型コロナウイルス感染症拡大により売上が落ち込んだ市内事業所や、感染予防の対策を取っている市内事業所に補助金5万円の支給。幸手市公式ツイッターやフェイスブックでの情報発信をしての応援。

・登園自粛の要請による公立保育

所、私立保育所の保育料の返還。  
・放課後児童クラブの利用自粛に対する保育料の返還。

・市内小中学校の児童生徒全員に1人1台のタブレット端末を確保し、学校内に高速・大容量の通信ネットワークを構築するGIGAスクール構想の今年度内の実施。

・マスク、手指消毒液、感染防止防護服、非接触型体温計の購入(学校、幼稚園、保育所等備品、市防災用備蓄品)。等

(追加議案 議案第44号)  
令和2年度幸手市一般会  
計補正予算(第4号)

国の令和2年度第2次補正予算

が6月12日に可決成立し、ひとり親世帯への臨時特別給付金が支給される事になりました。歳入歳出それぞれ4683万1千円が追加補正されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、子育てと仕事を一人で担うひとり親世帯に特に大きな困難が心身に生じていることを踏まえ、こうした世帯の子育て負担の増加や収入の減少に対する支援を行うため、臨時特別給付金を支給することになりました。

(給付額)  
 ・ 児童扶養手当受給世帯等  
 1世帯5万円、第2子以降1人につき3万円  
 ・ 収入が減少した児童扶養手当受給世帯等  
 1世帯5万円  
 対象者は770人、児童数は617人、給付額は4453万円を見込み。8月より支給開始予定。



令和2年6月定例議会  
 本会議議案質疑内容

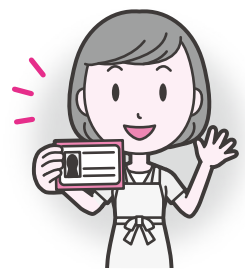
(議案第31号)  
 専決処分の承認を求めることについて(専決第6号) 令和2年度幸手市一般会計補正予算(第2号)

質疑

国からの予算の内示説明の内容について具体的に伺います。また、市の補正予算の編成に必要な条件が整っていたのかどうか含めてお願いいたします。

答弁

令和2年度幸手市一般会計補正予算(第2号)の専決処分に関しまして、当該補正予算の内容については、特別定額給付金および子育て世帯への臨時特別給付金の給付事業となっています。国からの予算説明の時期については、特別定額給付金が令和2年4月20日付、子育て世帯への臨時特別給付金は同年4月13日付にて、それぞれ事業が実施されることの周知と併せまして、市町村にあっては当



該事業の開始に向けた事前準備を早急に進めること等を依頼する旨の通知がなされています。

通知の内容は補正予算がそれまで4月7日で閣議決定されておりましたが、これを変更するという通知と併せまして、特別定額給付金(仮称)の事業実施について、実施主体、対象者、それから基準日、4月27日現在において住民台帳に記載されている者、また給付対象者が1人につき10万円、そして受給権者が世帯主、また申請方法は申請書類の郵送もしくはマイナンバーカードを活用してのオンライン、また給付開始日については市区町村において決定するという内容でございました。また、併せまして事務について、留意事項ということで事務経費の概算とともに、市区町村の補正予算の早期の編成、成立に向けて、国の補正予算の成立を待たずに手続きを進めるといった内容の通知です。

質疑

臨時議会を開かず、特別定額給付金の専決処分をしたわけですが、給付金申請書を送付する封筒がなく発送が遅れる状況が出ていました。この発送が遅れたことから逆算すると、臨時議会を開催しても特にスケジュール上の問題は生じなかったのではないかと私は考えるのですが、その辺についてお伺いいたします。

答弁

臨時議会の開催の可否については、補正予算(第2号)を編成する必要が生じ、それも50億円を越す予算規模を伴うものですので、臨時議会の開催および議案の提出を検討したところですが、特別定額給付金あるいは子育て世帯への臨時特別給付金は事業の実施主体は市区町村とはしつつも、そのいずれもが全国一律の内容で実施される給付事業であり、また家計への支援を迅速に行うという双方の給付金の趣旨に鑑みまして、可及的速やかにこれら事業の準備を進める必要がありましたことから、専決処分をさせていただいた次第です。

なお、先ほど郵送が遅れたので

はないかということでございまして、これは決して封筒がなかったから遅れたということではなくて、すぐさま専決処分終了後、5月1日付で様々な事務手続きをし、電算を担当しております業者との契約を結び、システム変更等々の必要が生じ、発送が5月22日になったというものです。

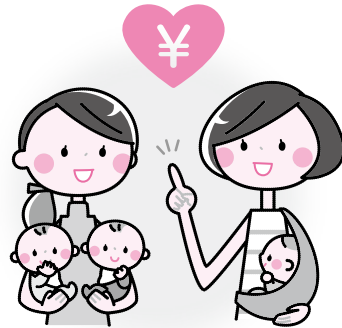


**質疑**  
特別定額給付金および子育て世帯への臨時特別給付金予算の執行状況について伺います。

**答弁**  
特別定額給付金および子育て世帯への臨時特別給付金とも国庫補助金を財源としております、現在まで国から50億6620万円の事業費補助金および5200万円の事務費補助金を収入済みです。

また、子育て世帯への臨時特別給付金においては、現在までに

5130万円の事業費補助金および392万3千円の事務費補助金が収入済みです。



**(議案第40号)**  
**令和2年度幸手市一般会計補正予算(第3号)**

**反対討論**

大平泰二

幸手市に対する国のコロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の上限枠は1億7225万円です。ところが、市が国に要求した金額は1億6144万5千円で、なぜ1080万5千円も少なく要求したのでしょうか。これは、市民が願う政策実現に向けた財源措置とは思えません。直ちに改善されることを要望します。

次に、市指定ごみ袋2パックの全世帯への配布事業として、歳入

で衛生手数料1610万円の減額を行っております。そして、その減額を同じ歳入において臨時交付金の一部で補填(天引き)する形をとって計上しております。事業とは予算の歳出をもって行うものです。ごみ袋配布に901万6千円もの配達料を計上することは認められません。

教育分野では、全校の児童生徒にタブレット端末を渡すGIGA教育に臨時交付金の内、901万1千円を計上しております。優先順位に配慮した予算編成への改善を要望し、反対討論といたします。

**賛成討論**

武藤壽男

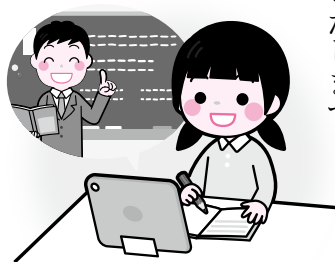
本市は、厳しい財政状況の中にあって地方創生臨時交付金を有効に活かさなければなりません。国が地方に、また個人にもこれほどまでに交付することはありません。

そういう意味において、国は財政規律を封印し、経済の維持に懸命であります。将来の次世代にどのような後年度負担や影響があるかわかりませんが、世界各国が有史以来の多額の財政出動を行っております。その結果については、将来の歴史の評価を待たなければな

りません。このような中で、市としてはこれらの財政支援を市民の皆さまのために活かさなければならぬと思います。

補正予算においても、市民の皆さまの経済支援、生活支援、感染症対策、災害対策に絞って、簡素でわかりやすく、スピード感のある事業を総合政策部や政策課を中心として速やかに選択し、各部署も積極的に協力して取り組んでいただきたいと思っております。

さらに、GIGA教育予算、生活支援等の執行にあたりましては、効率的な予算執行をお願いし、賛成討論といたします。



**人事案件**

教育委員会委員

岩崎 万紀子 氏

を任命することに同意いたしました。